

# 視察研修報告



三重県多気町



## VISION



VISION自動運転バス



みんながつながるミライ

## 2/22 三重県多気町

翌2月22日には三重県多気町を視察してまいりました。多気町では年間300万人もの来場者を誇る日本最大級の商業リゾート施設VISION（ヴィソン）と連携し、スマートインターチェンジの開通、サンセバスチャン（スペイン）との食の友好提携、薬草湯・薬草研究所の設立、自動運転バスの運行を開始したほか、広域連携で共通地域ポータルを開設し、デジタル地域通貨「美村PAY」を導入するなど、先進的なデジタルマーケティングにも力を入れ、町の活性化を図ってまいりました。

また、多気町長自らが、町職員であった際のノウハウを基に、毎日のように都市部の企業に出向き、災害に強い地盤、特別高圧や工業用水・バイオマス発電所からの熱源利用など、多気町のメリットを生かした企業誘致に取り組んでおられました。

今後、本村が発展していくためには企業の力も必要です。今回の研修で学んだ多気町長及び多気町議員の熱意と企業誘致及び企業連携のノウハウを参考に、村の活性化のために取り組んでまいりたいと思います。

## 2/21 滋賀県竜王町

議員全員で構成する美浦村議会議員会において、滋賀県の竜王町と三重県の多気町を視察してまいりました。竜王町では「子どもと暮らす喜びを実感できるまちづくり」としてコンパクトシティ化構想実現のため、町役場や公民館などの行政ゾーン、飲食店や金融機関などの複合ゾーン、集合住宅の居住ゾーン、そして、小学校、幼稚園、学童保育所、給食センターなどの交流・文教ゾーン等が集中する中心エリアを整備し、生活の利便性と多様な交流を育む「竜王プロジェクト」を推進しており、既に教育ニーズに弾力的に対応できる施設の整備として、老朽化した小学校の校舎を交流・文教ゾーンに移転するため、準備を進めてまいりました。

竜王町のプロジェクトは、こども園や学童保育所の整備などを含めた中心エリアの活性化を図り、地域の発展を目指す30年後のグランドデザインが基になっております。本村においても、統合小学校を含めた教育環境の整備については今だけの問題だけではなく、少子化を見据えた未来のビジョンを明確に描いて検討していかなければならないと、あらためて実感いたしました。



滋賀県竜王町

